

説明のしかたについて考えよう

めあて

アップとルーズのちがいをまとめながら、
説明の工夫を見つけよう

伝えられないこと	伝えられること	
<ul style="list-style-type: none"> ・走っている選手以外のこ と ・うつされていない多くの部分 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分の様子 	アップ（四だん落）
<ul style="list-style-type: none"> ・各選手の顔つきや視線 ・それらから感じられる気持 	<ul style="list-style-type: none"> ・広いはんいの様子 	ルーズ（五だん落）

これまで学習した中で対ひの関係にあるだん落
（一だん落）と（二だん落）

【説明の工夫】

だん落とだん落とを対ひさせて書くと、
伝えたいことのちがいが分かりやすい。

対ひ

…二つのものをくらべてちがいはっ
きりさせること

【6 / 16 時間目 指導略案】

使用するワークシート「説明のしかたについて考えよう」

活動のねらい

教材文を読み、対比を使って説明するよさに気付くことができるようにする。

1 段落と段落の関係を考えながら、教材文「アップとルーズで伝える」を読む。

4 時間目の学習を振り返り、アップとルーズについて説明している二つの段落の
関係から工夫を考えることを確認する。

2 「アップ」と「ルーズ」について、それぞれ「伝えられること」「伝えられないこ
と」をそれぞれまとめる。

【発問】四段落と五段落を読んで、「アップ」と「ルーズ」の「伝えられること」「伝
えられないこと」をそれぞれまとめましょう。

3 四段落と五段落の関係を考え、その工夫のよさを話し合う。

【発問】四段落と五段落はどのような関係にあるでしょう。

【発問】筆者はなぜ、アップとルーズを比べて説明したのでしょう。

二つの事柄のちがいや特徴を比べてはっきりさせることを「対比」と言うことを
確認する。

教材文の中で、他の対比して書かれた段落について考えさせる。

・ 一段落（ルーズの画面の様子）と二段落（アップの画面の様子）

4 段落を対比させて書く工夫をまとめ。

段落と段落を対比させて書くと、伝えたいことのちがいが分かりやすい。

評価 教材文を読み、対比を使って説明するよさに気付いている。（ウ）

「対比」の意味を再確認する。

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、「終わり」の段落と他の段落との関係について学習することを確認す
る。